

徳島大学先端酵素学研究所講演会

参加
無料

中山 敬一 教授

九州大学生体防御医学研究所

日時：4月14日 **金** 17:00-18:30

会場：日亜メディカルホール(西病棟11階)

次世代プロテオミクスが拓く医学生物学の 新地平：90年来のがんの謎を解く

タンパク質の総体(プロテオーム)を定量的に測定することは非常に重要であるが、未だ「大規模に」「高速に」「正確に」タンパク質を定量する技術は存在しない。われわれはヒトの全リコンビナントタンパク質を試験管内で合成し、この情報を基に短時間に多数のタンパク質の絶対定量を可能にする技術(in vitro proteome-assisted MRM for Protein Absolute Quantification: iMPAQT)という方法を発明した(特許第5468073号)。このiMPAQT法を用いて多くのタンパク質の絶対定量を行った。特に正常細胞とがん細胞について、その代謝状態の変化をもたらすキー酵素を探索した。この結果、がんにおける代謝シフトは、カーボンソース利用をエネルギー産生から高分子化合物合成へリモデリングする適応戦略であることが明らかとなった。

※本講演会は各教育部の大学院特別講義を兼ねています。

医科学教育部 大学院講義

栄養生命科学教育部 大学院講義

口腔科学教育部 大学院講義

お問い合わせ

先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター
小迫 英尊

Tel : 088-634-6413 (内線 : 7916)

Email : kosako@tokushima-u.ac.jp